

浄心寺だより

発 行

浄心寺門信徒会

郵便番号 714-0081
 笠岡市 笠岡 2065
 電話 (0865) 62-2623
 FAX (0865) 62-2595
 振替 01260-9-13760
<http://joshinji.suki-ari.net/>



ごあんない

法寶物 虫干し法座

日 時 七月十七日(火) 十三時半
 ご法話 東広島市・興学寺

覚王地昭見師

人は本来、真実の法が必要なのですがそれには気づかず、求めることもしません。だからしあわせになれないのです。淨土に往生されたお方は、その私を放つておくことができず、真実の法を雨降らしてくださるのです。その仏法を聴聞させていただくことこそ今生きる者の勤めであります。

鷹谷俊昭著『月ごとのことば』転載

「み法を味わつて」(四)

梅雨のうつとうしい季節が来ました。でも雨は生物に大切です。日本には四季がありその間に雨が多く降ります。それで国土が潤うのです。

『大無量寿經』に、お淨土に還られたお方のお徳に「大雨の如し、甘露の法の雨降らして、衆生を潤すがゆえに」というおたとえがあります。

ものに水がつくという言葉には、「濡らす、湿す、潤す」といろいろありますが、普通「濡らす」は表面に水をつける、「湿す」は乾いていたものに湿気を含ます、「潤す」は本来湿気や水分を必要としているものにそれを得させることを表します。

宗祖降誕会 つとまる

五月十七日午後一時半より宗祖降誕会(こうたんえ)法要が勤まりました。これは親鸞聖人のご誕生をお祝いする法要です。

まず一同で和訳正信偈をおつとめしました。続いて例年通り、奉贊行事が二部催されました。

第一部は浄心寺女声コーラス同好会「コール清風(しようふう)」による仏教讃歌。新たなコーラス名をつけて、気分一新のお披露目となりました。平田澄子先生の電子ピアノ伴奏で、「いのちかがやいて」、「念佛」、「ここは瀬戸内」、「しんらんさま」の四曲を披露。力強

ととなりました。生寿さんは若さあふれる勢いのある喋りと巧みなジエスチャー、一方の遊喬さんは円熟味のある落ち着いた話術と演技力で、松喬師匠とはまた一味違った落語が楽しめました。

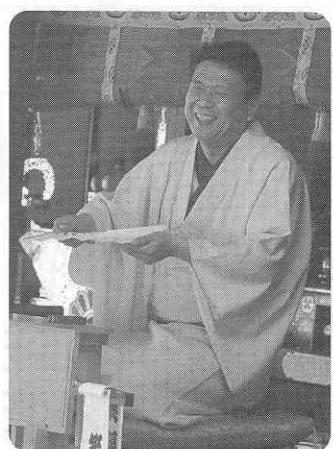
初夏の快晴の中、コーラスに落語にと、降誕会にふさわしい楽しい法座となりました。

四月二十六日(土)に備中里組佛教青年部会(高橋慧部会長)主催で、「真備を歩こう—金田一ワールド散策」が開催されました。総勢三十六名と、三世代での参加も含め多くの方々に参加いたしました。

倉敷市真備町の大円寺で開会式の後、横溝正史ゆかりの場所を徒

く心地よいハーモニーが堂内に響きわたりました。

第二部は上方落語。今年は笑福亭松喬師匠に代わり、三番弟子の遊喬(ゆうきょう)さんと、一番弟子の生喬師の弟子の生寿(せいじゅ)さんのお二人がみました。休憩を挟んで二席あり、一席目は生寿さんによる「時うどん」、二席目は遊喬さんによる「ためし酒」でした。生寿さんは若さあふれる勢いのある喋りと巧みなジエスチャー、一方の遊喬さんは円熟味のある落ち着いた話術と演技力で、松喬師匠とはまた一味違った落語が楽しめました。



初夏の暑さでしたが、真備の自然も満喫できた一日でした。

サマースケール

◎とき

7月22日(火)~23日(水)
1泊2日

◎ところ 浄心寺

◎対象 小学生ならだれでも
詳しくは浄心寺までお問い合わせください。

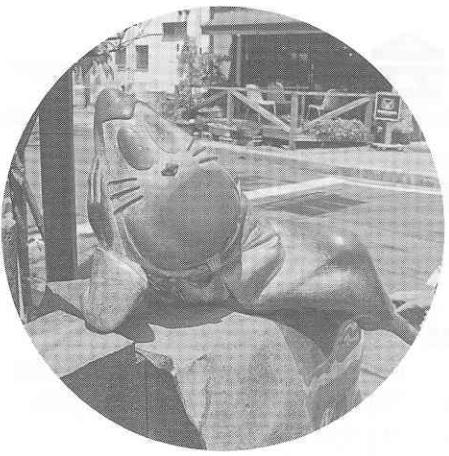
(0865)62-2623

笑福亭遊喬師

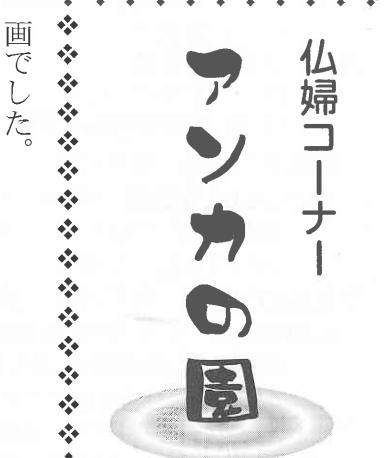
平成二十六年

研修旅行に参加して

生江浜 松田勝由



わたしは浄土真宗の門徒にとつて最も大切なことは「お聴聞」だと教えられ、厳しい修行をするのでもなければ、精神修養をするのではなく、ただ折にふれ縁にふれて、お念佛のお法（おみのり）を聞くことが何よりも大切であることを知りました。お聴聞こそが自分自身の人間性を深めるありがたい修養であると知らされできるだけご法座に参加しています。



今回の研修旅行は六月一日に松江市八束支所（大根島）にある東洋思想を深く探求された中村元博士の記念館と境港市生まれの漫画家・水木しげる記念館を訪れる企

水木しげるさんの『ゲゲゲの鬼太郎』など数多くの妖怪マンガは現代の綿密な科学文化生活にさわやかな風となつて多くの人の心を和ませてくれました。
啓発と娯楽を同時に楽しめる研修旅行です。多数の皆さんも参加いたしました。

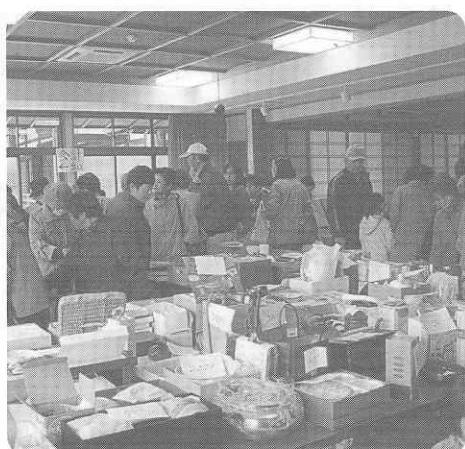
ブッダのことば「慈しみ」
一切の生きとし
生けるものは

館内のパネルに目がとまりました。

博士はインド思想の中心である仏教を言語学的、文献学的、考古学的根拠によって解説されました。そして膨大な著作、とくに『仏教語大辞典』を著されるなど仏教研究者にとつての巨星でもあります。

五月十八日十時より初参式（じよさんしき）が開催されました。護者の方々の参加がありました。净心寺仏教婦人会主催で、第三回目です。

副住職によるおつとめ、法話の後、集合写真を撮り、手形、足形を色紙にとりました。



誕生日ミニコンサート

◎ 第十五回 ダーナバザー開催

ヌ等、いつもながら大好評でした。毎回、皆様方より多くの品物をご提供いただき、またお買い上げいただきました。
会員一同、心より厚く御礼申し上げます。

初参式

手作りのお寿司・赤飯・マドレー

平成26年度

門信徒会総会

平成25年度 行事報告(抜粋)

- 4.29(月) 花まつり 白印茶会
 5.11(土) 門信徒会総会 降誕会 仏教讃歌と上方落語
 女声コーラス同好会 六代目笑福亭松喬師匠
 6. 1(土) 研修旅行 塚別院、塚歴史散歩
 7. 16(火) 法物虫ぼし法座 福山市光源寺 北山裕章師
 7.22(月)~23(火) サマースクール
 8. 15(木) 孟蘭盆会
 9. 20(金) 秋季彼岸会・永代経 三次市善徳寺 長谷川憲章師
 12. 7(土) 地区委員会 報恩講 福山市善正寺 那須英信師
 12. 31(火) 除夜会
 26. 1. 1(水) 修正会
 1.21(火) 新春のつどい
 3.19(水) 春季彼岸会・永代経 庄原市西教寺 藤井義英師
- ◇朝のおつとめ 毎朝6時
 ◇やさしい仏教講座『お釈迦さまの教え』 解説:副住職
 ②4/26(金) ②6/11(火) ②8/25(日) ②10/9(水)
 ②12/11(水) ②2/6(木)
- ◇念仏のつどい 毎月15日 13時30分より
 ◇仏教婦人会 総会、例会、各種研修会、研修旅行、料理教室、清掃奉仕、福祉施設慰問、初参式、4/20 結成20周年記念式典
- ◇文化筝同好会 每月第1水曜日 平田澄子先生
 ◇女声コーラス同好会 每月第2土曜日 平田澄子先生
 ◇『浄心寺だより』発刊
 103号(5月)、104号(7月)、105号(11月)、106号(3月)
- ☆本山関係 7月 全国真宗青年のつどい、9月 千鳥ヶ淵
 全戦没者追悼法要、各種記念法要、各種研修会
- ☆備後教区 各種研修会、定例法座(毎月11日)、報恩講(11/30)
 総代研修会、平和のつどいなど
- ☆備中里組 同朋運動推進協議会、第5期連続研修会(偶数月第2木)、4/27キッズサンガ「六島を歩こう」、5/7・8 本願寺念仏奉仕団

平成25年度 収支決算書

収入の部 5,275,345円

門信徒会費、行事参加費(新春のつどい、サマースクール、研修旅行)、教化助成金、法座懇志、冥加金、預金利子、繰越金

支出の部 5,275,345円

行事費(法座、莊嚴費、サマースクール、研修旅行、新春の集い、仏教講座、役員会、総会)、賦課金、通信費、火災保険料、手数料、消耗品費、印刷製本費、光熱水費、修繕費、当期剰余金

この決算については、平成26年4月22日、監査藤井浩一郎氏、高橋保文氏により監査を受け、正確かつ妥当なことが認められ、5月17日、門信徒会総会において承認されました。

平成26年度 行事計画

- ◇花まつり 4月29日(火) 9時
 ◇総会 5月17日(土) 10時30分
 13:30 女声コーラス同好会
 笑福亭生寿師、笑福亭生喬師
 ◇研修旅行 6月 1日(日) 中村元記念館、水木しげる記念館
 ◇法物虫ぼし法座 7月17日(火) 東広島市 興学寺 覚王地昭見師
 ◇サマースクール 7月22日(火)~23日(水)
 ◇孟蘭盆会 8月15日(金) 10時、14時
 ◇秋季彼岸会・永代経 9月22日(月) 福山市 光行寺 莢屋光影師
 ◇地区委員会 12月 6日(土) 11時
 ◇報恩講 13時30分 福山市 光円寺 平山智正師
 ◇除夜会、修正会 12月31日(火)、元旦
 ◇新春の集い 平成27年1月中旬
 ◇春季彼岸会 平成27年3月18日(水) 熊本県 明導寺 藤岡孝教師
 あさのおつとめ 通年毎朝6時
 やさしい仏教入門 毎回19:30 講師:津田明雅 副住職
 ②4/10(木)、②6/6(金)、②8/24(日)、
 ②10/16(木)、②12/10(水)、②2/未定
 念仏のつどい 毎月15日 13:30
 「浄心寺だより」発刊 107号(5月)、108号(7月)、109号(11月)、110号(3月)
 仏教婦人会 総会、例会、各種研修会、研修旅行、料理教室、福祉施設慰問、
 清掃奉仕など、4/20 ダーナバザー、5/18(日) 初参式
 文化筝同好会 每月第1水曜 指導:平田澄子先生
 女声コーラス同好会 每月第2土曜 指導:平田澄子先生
 本山関係 7月 全国真宗青年のつどい、9月 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要、各種研修会、記念法要など
 備後教区 各種研修会、定例法座(毎月11日)、報恩講(11/30)
 総代研修会、平和のつどい(備中3組担当)など
 備中里組 『御同朋の社会をめざす運動』推進協議会、第6期連続研修会、
 キッズサンガ「真備を歩こう」、総代研修会、その他

平成26年度 収支予算書

収入の部 5,324,709円

門信徒会会費、行事参加費(新春のつどい、サマースクール、研修旅行)、教化助成金、法座懇志、冥加金、預金利子、繰越金
 (ほかに門信徒会基金 10,500,000円)

支出の部 5,324,709円

行事費(法座、サマースクール、研修旅行、新春のつどい、役員会、総会)、賦課金、通信費、火災保険料、手数料、消耗品費、印刷製本費、光熱水費、修繕費、研修費、予備費

本願寺法統継承式

本願寺第二十四代即如門主から法統が専如新門さまに継承される「法統継承式」が六月六日に行われました。

午前十時から第一部「法要」、第

二部「式典」では専如ご門主が初の「ご消息」を発布されました。続いて専如ご門主、即如前門主さまからの「お言葉」があり、園城総長の挨拶がありました。

第二十五代ご門主のもと宗門は新たな歩みを始めることになりました。社会状況の変化は著しく、混迷の度を深める現代社会。さまざま

第五期の連研が終了

平成二十四年五月から始まつた備中里組主催の第五期連続研修会（連研）が五月二十二日をもつて終了しました。

この連研は私たちが日頃抱えているご法義上の味わいや疑問など十二のテーマに沿って話し合いながら理解を深めていこうという研修会です。本期の連研には組内の三氏が参加してくださいました。

第六期は今年九月から開始するよう準備が進められています。

当寺の継職法要は明後年

一方、当寺におきましても現住職が退任し副住職が継職されます。



前門様



第二十五代
専如門主

まな課題解決への糸口となるよう大きな期待が寄せられています。

この慶事につきまして先般、門信徒総代さん列記の趣意書とそれをお願いを申し上げました。

安泰のうちに代替わりが行われることは私ども門信徒にとって大きな喜びであります。

ご寄付につきましては何かとご出費多端の折でございますが何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

募財は五月から始まり、すでにご進納頂いたお方には厚く御礼申し上げます。

慶讃法要は明後年（平成二十八年）三月二十七日に举行の予定です。この法要には稚児行列も予定されています。幼児の皆さん、父さん、母さん、爺ちゃん、婆ちゃんなどご家族ぐるみでお参りください。

平成26年度 門信徒会会費納入のおねがい

本年度会費納入をお願い申し上げます。納入につきましては、地区委員さんを通じてか、地区委員のおられない地区の方はご参拝の折、あるいは同封の郵便振替（手数料無料）でお願いいたします。

門信徒会費は年額2,000円として、それ以上の御懇意の方には金額を限定しておりません。

還淨（げんじょう）

西田	酒田	中塚	田方	薩奈子	神	田
裕輔	工	5	宮脇	マリ子	ツ子	方
5	5	4	津田	茂則	3	薩
.	.	4	田村	多津子	1	奈
28	23	25	生江浜	80	101	子
77	74	42	福山市	倉敷市	91	神
中央町	園井		生江浜	浅口市		田
				熊本市		方

話題

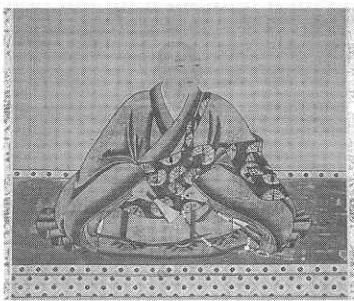
西本願寺の
阿弥陀堂
御影堂が
国宝に

阿弥陀堂は宝暦十年（1760）に再建され大規模真宗本堂の完成形として国宝に指定されました。

また御影堂は寛永十三年（1636）に上棟。江戸時代の建築として現存最大級の規模を誇る建物です。また阿弥陀堂門、御影堂門、経蔵、鼓樓、手水所、總門などの建築群は重要文化財として新規指定、さらに本山前に明治四十四年（1911）に建てられた「旧真宗信徒生命保険株式会社本館」（本願寺伝道院）も、アジアの建築様式を取り混ぜた煉瓦造建築として高く評価されました。

淨心寺の法寶物

その7



明光上人は弘安九年(1286)、正平八年(1353)、鎌倉・南北朝時代

「明光上人壽像」

ラオスの諸国では、仏教がほとんど国教として行われていますが、これらの国の仏教はその教義や宗教生活が共通しています。僧は黄衣をまとい、パーリ語（インド古

ここで少し南方諸国の仏教に触れておきましょう。現在、スリラ

仏教の歴史



教えと そのあゆみ



語の一種)で書かれた經典を読み、戒律を堅く守つて独身生活を送り、釈尊以外の仏や觀音・地藏などの菩薩に対する信仰を持つておりません。しかし彼らは、自分たちの仏教こそ釈尊当時の姿をそのまま忠実に伝えた、正しい伝統をもつ仏教であると誇っています。

古くから仏教を「小乘佛教」と

「大乗仏教」とに分ける分類がありますが、「乗」というのは「乗り物」すなわち迷いの世界から悟り

の真宗仏光寺派の僧侶です。鎌倉に住し最宝寺を開きました。のち仏光寺6世を継ぎ、備後・山南（現、福山市）に光照寺を興し、ここを拠点に中国地方の真宗教線の拡大に努めました。

本紙第一〇三号のこの欄でご紹
介しました〈十字名号〉は親鸞聖
人から明光が下向の際、付属され
たものと伝えられています。

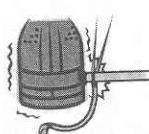
このほか、当時には〈絵系図〉、
〈高僧連座像〉など明光上人にまつ
わる古文書などが伝えられています。

孟蘭盆會

8月15日(金)

10時、14時

ご都合のよい時間帯に
お参り下さい



の世界へ運ぶはたらきをするものですから教えと同じ意味になります。ところでこの二つはどう違うのかというと小乗では自分だけの悟りを完成すれば目的を果たしたことになるが、大乗では自分だけでなく、全ての人に悟りを得させることを理想とします。自分だけの悟りに終わらないで、広く一切の有情を救う偉大な仏の悟りを得ることが目的であるので、すぐれて大きな教え——大乗とよぶわけです。さて南方諸国の仏教はどちらになるかというと、小乗仏教に入ります。しかし、それでは一段低い仏教であるかというと、簡単に決められない問題です。道元禅師が「われわれは仏教の真偽を問題にすべきであるが、それは修行の真偽によつて決まるものであつて、教義の優劣というような文字の面にとらわれてはならぬ」と語られています。

本願寺においては、六月五・六日専如ご門主の法統繼承が行われました。八月十五日の盂蘭盆会、九月二十二日の永代経・秋季彼岸会法要のご案内、門信徒会総会報告、研修旅行、キッズサンガ活動等報告の浄心寺だより第一〇八号をお届けします。
(編集委員)

初夏の季節となりました。
お寺の鐘の音と共に淨らかな風
が境内に吹く今日この頃皆様如何
お過ごしでしょうか。

編集後記



中文字幕

9月22日(月)

13時半

秋季 彼岸会 永代經 法要